

【生徒の実態】

	第1学年	第2学年	第3学年
学力分析	・資料を読み、道徳的価値に迫る思考をすることには個人差があるが、自己の考えや思いを記述できる生徒が多い。	・道徳的価値について自分の考えを持っていても、他者はそれと異なった考えを持っていることを実感できている生徒はそれほど多くない。	・道徳的実践力は個々に差があるが、テーマを意識した学習ができる。内容を深く考え、自己の考えや思いを記述できる生徒が多い。
学習状況	・自分の考えを文章で表現し、グループ内で活発に意見交換ができる。 ・ココログ・ノートの振り返り欄に、授業内で感じたことや気付いたことを書き、自分と向き合うことが出来ている。	・自分の考えを文章として記述ができていても、それを積極的に表出できる生徒とそうでない生徒の差はかなり大きい。 ・授業内で取り扱った教材をもとに考えを深め、最後に自己を振り返って道徳的価値観を考えられている生徒が多い。	・自分の考えや気持ちを文章に表現し、他者に伝えることが出来る生徒が多い。 ・小グループでは積極的な発言が多く見られる。全体の場でも、積極的に挙手をし、発言できる生徒がいる。
生徒アンケートの結果より	・生徒が考えを深められるよう、教材や導入を工夫する。 ・道徳的実践力を養うために日常生活と結び付け、卒業後の社会的自立を目指した指導を行う。	・映像教材や葛藤教材など、生徒が興味関心を持ちやすい教材を上手に活用する。 ・道徳科の授業の時間だけでなく、すべての教育活動と関連付けて生徒の道徳的実践力を養っていく。	・指導内容を押しつけないように、生徒自らが道徳的価値を見いだせるような授業の工夫をする。 ・道徳的実践力を養うために日常生活と結び付け、継続的な指導をする。

【授業改善の手だて】

	第1学年	第2学年	第3学年
改善計画	・ペア学習や少人数での活動の場面を増やし、自己の考えと他者の考えを比較しながら様々な価値観を認める態度を養う。 ・ICTを適切に取り入れる。	・小集団での話し合いと個人作業をバランスよく取り入れ、多様な意見と触れられるようにする。 ・ICTを適切に活用し、意見の表出が難しい生徒の考えも、全体で共有できるようにする。	・話し合い活動の時間を増やし、自己の考えと他者の考えを比較・検討しながら様々な価値観を認める態度を養う。 ・ICTを適切に取り入れる。
評価方法	・「ココログ・ノート」への記入内容、意見発表、学習者用端末への入力内容からどれほど深く考えることができたかを確認する。	・ワークシートやロイロノートの記述から、多様な考えにどれだけ触れることができたか、また自己をどれだけ深く見つめることができたかを確認する。	・自己と向き合い、考えることができたか、発表内容や道徳のワークシートの記述内容を確認する。